平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年１月30日

上 場 会 社 名	キーコーヒー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2594	URL	http://www.keycoffee.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	柴田　裕
問合せ先責任者	(役職名) 財務部長	(氏名)	橋口　芳久　(03)3433-3311
四半期報告書提出予定日	平成24年２月６日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	41,316	9.8	519	△41.6	695	△35.3	187	△65.3
23年３月期第３四半期	37,616	△4.1	889	△21.5	1,074	△19.8	540	△18.6

(注)　包括利益　24年３月期第３四半期　198百万円(△60.8%)　23年３月期第３四半期　506百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第３四半期	8　46	―
23年３月期第３四半期	24　42	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	45,271	33,149	70.8
23年３月期	43,391	33,323	74.2

(参考)　自己資本　24年３月期第３四半期　32,035百万円　23年３月期　32,177百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―	10　00	―	10　00	20　00
24年３月期	―	5　00	―		
24年３月期(予想)				5　00	10　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	53,800	10.5	210	△44.6	430	△29.7	8	△92.2	0　36

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	22,464,000株	23年３月期	22,464,000株
②　期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	329,451株	23年３月期	329,164株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	22,134,755株	23年３月期３Ｑ	22,135,252株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）セグメント情報等 …… 12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年４月1日から平成23年12月31日までの９ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題に世界経済失速の懸念も加わり、依然として不透明な状況となっております。

コーヒー業界につきましては、業績に大きな影響を及ぼすコーヒー生豆相場は、平成22年４月には１ポンドあたり130セント前後であったものが上昇を続け、平成23年５月上旬に300セントの大台を超えるなど急騰しました。６月にはやや落ち着きを取り戻したものの、９月上旬には再び300セントに急迫するなど、高値圏で推移しております。このコーヒー生豆価格の上昇に加え、コーヒー以外の製品の原材料となる砂糖や穀物類の国際相場も高騰するなど、極めて厳しい環境が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力をお客様にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「収益性拡大」「市場競争力強化」「ブランド価値向上」を３つの柱とし、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発、お客様との絆を深める営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、積極的な拡販活動が奏功し、413億16百万円（前年同期比9.8%増）と増収になりました。利益面については、調達から製造・物流面までのあらゆる工程の見直しを行うなど全社を挙げて原価上昇の圧縮や販管費の削減に努めましたが、原材料価格の上昇は企業努力を遥かに上回るものであり、さらに東日本大震災の影響による販売価格改定作業の遅延も加わり、営業利益は５億19百万円（同41.6%減）、経常利益は６億95百万円（同35.3%減）となりました。また、四半期純利益は１億87百万円（同65.3%減）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、トアルコトラジャコーヒーや氷温熟成珈琲などの高付加価値商品の販売に注力する一方、課題解決型の営業活動を推進致しました。また、お取引先売上げ向上の支援策として、「スパイシーカレーフェア」、「トロピカルマンゴーフェア」や「イタリアンフェア」などの各種販促を実施致しました。

また、一杯ずつ個包装したコーヒーを専用器具で抽出するコーヒーバリエーションシステム「Cafe P’s」の市場導入を開始致しました。

家庭用市場では、春夏商品としてお気に入りのマイボトルでいつでも、どこでもすっきりした味わいのアイスコーヒーが楽しめる「マイボトルでつくろう！水出しコーヒー」、ご家庭や職場で気軽にカフェ気分が楽しめる「割りカフェ」シリーズを発売し、秋冬商品としては、歴史と伝統が創り上げた、クラシックでリッチな味わいの「横濱 1920 CLASSIC RICH TASTE」、マイボトルシリーズのホットコーヒー商品「マイボトルでつくろう！ホットコーヒー専用」を発売しました。

ギフト商品では、中元期に有機農法で栽培されたコーヒー、紅茶、ぶどうを使用した安全、安心の飲料ギフト「有機栽培飲料バラエティギフト」などを発売し、前年同期を上回る販売実績となりました。

歳暮期には2011年度モンドセレクションで最高金賞を受賞したアロマフラッシュ「鮮やかな香りのキリマンジェロブレンド」や、iTQi（国際味覚審査機構）優秀味覚賞を２年連続受賞した「トアルコ トラジャ」のギフトなど全29アイテムをラインアップ致しました。

直営のキーコーヒーショップでは、こころとからだにくつろぎをもたらす食生活を提案する新業態のハーブティーショップ「mi to ha(みとは・実と葉)by KEY COFFEE」を都内百貨店に出店致しました。

新たな商品カテゴリー創出の取組みとしては、本場イタリアのエスプレッソコーヒーの味わいをご家庭で手軽にお楽しみいただけるイタリアのコーヒーメーカーillycaffe S.p.A.（イリカフェ社）のエスプレッソシステム「METODO IPERESPRESSO（メトド・イペールエスプレッソ）」の市場導入を行いました。

この結果、当第３四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は358億24百万円（前年同期比11.2％増）、営業利益は８億31百万円（同27.5％減）となりました。

（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「国内は充実」「海外は拡大」の方針の下、国内においては既存店舗の充実とケーキ類の商品開発の強化や新たな業態開発を進め、小田原には店内焙煎を行う「イタリアン・トマト 自家焙煎珈琲工房」、品川にはゲームコーナーを常設した新業態のファミリーレストラン「CHIPS SINCE 1984」をオープンしました。一方、海外においては、アジア地域を中心としたエリア開発を進めました。

出店状況につきましては、フィリピンでは初となる「和茶房 鎌倉 夢見屋」を首都マニラに出店するなど新規に11店出店致しました。一方、不採算店17店を閉鎖し、店舗数は306店（直営店72店、ＦＣ店234店）となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における飲食関連事業の売上高は39億21百万円（前年同期比2.1％減）、営業利益は９百万円（同88.8％減）となりました。

（その他）

当第３四半期連結累計期間におけるその他の売上高は15億70百万円（前年同期比12.0％増）、営業利益は86百万円（同28.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

総資産は前連結会年度末に比べて18億79百万円増加し、452億71百万円となりました。

流動資産は29億39百万円増加し、238億61百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加（18億24百万円増）や現金及び預金の増加（６億91百万円増）などによるものです。

固定資産は10億60百万円減少し、214億９百万円となりました。有形固定資産は、機械装置及び運搬具等の減価償却が新規取得額を上回ったことなどにより５億85百万円減少しました。投資その他の資産は、投資有価証券の減少（３億76百万円減）などにより４億42百万円減少しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて20億53百万円増加し、121億21百万円となりました。

流動負債は20億41百万円増加し、97億26百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加（21億14百万円増）したことなどによるものです。

固定負債は12百万円増加し23億94百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度に比べて１億73百万円減少し、331億49百万円となりました。これは主に利益剰余金が減少（１億44百万円減）したことなどによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、現時点において平成23年10月24日に公表致しました業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,749	7,441
受取手形及び売掛金	6,989	8,813
有価証券	4,036	4,108
商品及び製品	1,177	1,306
仕掛品	149	212
原材料及び貯蔵品	1,070	1,455
繰延税金資産	231	161
その他	537	402
貸倒引当金	△21	△42
流動資産合計	20,921	23,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,709	6,467
機械装置及び運搬具（純額）	2,196	1,934
土地	6,316	6,316
その他（純額）	790	708
有形固定資産合計	16,012	15,426
無形固定資産		
のれん	183	163
その他	287	274
無形固定資産合計	470	438
投資その他の資産		
投資有価証券	3,574	3,198
長期貸付金	223	229
繰延税金資産	97	208
差入保証金	1,737	1,635
その他	659	611
貸倒引当金	△305	△339
投資その他の資産合計	5,987	5,544
固定資産合計	22,470	21,409
資産合計	43,391	45,271

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,611	6,726
短期借入金	346	348
未払金	1,268	1,178
未払法人税等	186	248
賞与引当金	346	186
災害損失引当金	122	0
その他	804	1,037
流動負債合計	7,685	9,726
固定負債		
長期借入金	245	120
繰延税金負債	5	6
再評価に係る繰延税金負債	634	557
退職給付引当金	581	873
資産除去債務	221	227
その他	694	610
固定負債合計	2,382	2,394
負債合計	10,068	12,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,465	4,465
資本剰余金	4,873	4,873
利益剰余金	26,957	26,812
自己株式	△540	△541
株主資本合計	35,754	35,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	54
土地再評価差額金	△3,701	△3,624
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益累計額合計	△3,577	△3,574
少数株主持分	1,145	1,113
純資産合計	33,323	33,149
負債純資産合計	43,391	45,271

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	37,616	41,316
売上原価	25,320	29,783
売上総利益	12,295	11,532
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	949	831
荷造運搬費	815	840
車両費	392	387
貸倒引当金繰入額	16	31
役員報酬	271	271
給料及び賞与	4,514	4,428
賞与引当金繰入額	200	143
退職給付引当金繰入額	392	425
福利厚生費	673	669
賃借料	827	807
減価償却費	341	279
消耗品費	253	241
研究開発費	179	151
その他	1,577	1,501
販売費及び一般管理費合計	11,406	11,013
営業利益	889	519
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	45	64
負ののれん償却額	5	－
持分法による投資利益	21	－
受取家賃	30	30
その他	61	68
営業外収益合計	203	201
営業外費用		
支払利息	9	12
持分法による投資損失	－	2
為替差損	－	5
リース解約損	5	0
その他	3	4
営業外費用合計	18	25
経常利益	1,074	695

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	35	－
負ののれん発生益	1	26
移転補償金	265	－
特別利益合計	302	27
特別損失		
固定資産除却損	34	21
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	48	5
会員権売却損	－	6
貸倒引当金繰入額	－	38
解約負担金	14	－
事業整理損	－	19
災害損失	－	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	－
特別損失合計	177	135
税金等調整前四半期純利益	1,198	587
法人税、住民税及び事業税	539	375
法人税等調整額	62	16
法人税等合計	601	392
少数株主損益調整前四半期純利益	597	195
少数株主利益	56	7
四半期純利益	540	187

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	597	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△74
土地再評価差額金	―	77
為替換算調整勘定	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△90	3
四半期包括利益	506	198
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	448	190
少数株主に係る四半期包括利益	57	8

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,198	587
減価償却費	1,109	998
負ののれん償却額	△5	－
負ののれん発生益	△1	△26
固定資産除却損	34	21
固定資産売却損益（△は益）	－	△0
投資有価証券売却損益（△は益）	△35	0
投資有価証券評価損益（△は益）	48	5
移転補償金	△265	－
会員権売却損益（△は益）	－	6
解約負担金	14	－
事業整理損失	－	19
災害損失	－	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△15	54
賞与引当金の増減額（△は減少）	△241	△159
退職給付引当金の増減額（△は減少）	255	291
受取利息及び受取配当金	△84	△102
支払利息	9	12
持分法による投資損益（△は益）	△21	2
売上債権の増減額（△は増加）	△1,739	△1,826
たな卸資産の増減額（△は増加）	△170	△577
仕入債務の増減額（△は減少）	1,014	2,114
未払金の増減額（△は減少）	93	△2
その他	220	216
小計	1,499	1,678
利息及び配当金の受取額	64	82
利息の支払額	△8	△12
移転補償金の受取額	296	－
災害損失の支払額	－	△162
法人税等の支払額	△670	△297
法人税等の還付額	－	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,182	1,363

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,000	△4,000
有価証券の償還による収入	3,031	4,000
投資有価証券の取得による支出	△1,159	△221
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,039	410
有形固定資産の取得による支出	△506	△437
有形固定資産の売却による収入	0	1
事業譲受による支出	△185	－
その他	△42	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,821	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	98
短期借入金の返済による支出	－	△85
長期借入金の返済による支出	△135	△135
配当金の支払額	△439	△330
その他	△38	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,253	691
現金及び現金同等物の期首残高	7,599	7,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,346	7,828

（４）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,209	4,004	36,214	1,401	37,616	―	37,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	335	2	337	884	1,221	△1,221	―
計	32,544	4,007	36,551	2,286	38,838	△1,221	37,616
セグメント利益	1,146	85	1,231	120	1,352	△463	889

（注）　1.　「その他の区分」は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △４億63百万円には、セグメント間取引消去 ４百万円、棚卸資産の調整額 △３百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △４億65百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,824	3,921	39,745	1,570	41,316	―	41,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	342	1	343	1,160	1,504	△1,504	―
計	36,166	3,922	40,089	2,731	42,820	△1,504	41,316
セグメント利益	831	9	840	86	927	△407	519

（注）　1.　「その他の区分」は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △４億７百万円には、セグメント間取引消去 ４百万円、棚卸資産の調整額 △17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △３億94百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

該当事項はありません。